

NO	意見	対応等	担当課
1	<p>評価の際、「順調、概ね順調」の割合が低いものだけでなく、むしろ割合が高いものこそ再考する必要があると思う。評価項目に定性的な評価も含めるようにするなどの検討が必要ではないかと思う。</p>	<p>次期計画等においては、評価指標による定量的評価のみならず、施策の取組内容に対する定性的評価などを総合的に踏まえた評価方法を検討していきます。</p>	地方創生推進室
2	<p>合計特殊出生率について、鳥取市の実際の数字は1.4~1.5といったところだが、これを2.07に持っていくことは非常に難しいのではないか。 行政として数値設定を急に变えるのは難しいとは思いますが、実態に応じた考え方も必要。人口減少社会で豊かな社会を目指すといった発想の転換も必要ではないか。</p>	<p>日本全国で人口減少が進行する中、人口減少を和らげること、また人口減少に適應した地域をつくることを目指し、国と地方が一体となって取組を進めています。 合計特殊出生率を人口置換水準である2.07に回復することは高い目標ではありますが、国や県の戦略等と整合を取りながら施策を推進していきたいと考えています。</p>	地方創生推進室
3	<p>鳥取市内も外国人が非常に増えており、そうした方々が住めるような受入環境を少しでも整備していけば、人口の目標達成にも近づくとと思う。 第12次鳥取市総合計画には、市外(国外)から来ていただけるような人口減少が抑制できる具体的施策も盛り込んでほしい。</p>	<p>近年、技能実習など様々な理由により外国人が増加しています。鳥取市で快適に生活していただけるよう、次期総合計画等においても多文化共生のまちづくり推進に向け取組を進めていきたいと考えています。</p>	地方創生推進室
4	<p>第11次鳥取市総合計画はボリュームが多く、計画に関わっていても読みづらいと非常に感じた。例えば、熊本市総合計画はコンパクトにまとめられていてすごく見やすく、これだったら読んでみようかなと思った。 オール鳥取市ということであれば、ある程度デザイン性や見やすさ、言葉の使い方などをストレートに分かりやすい表現するなどされてはどうか。</p>	<p>市民にも読みやすい計画となるよう、わかりやすい表現になるよう留意するほか、レイアウトやデザインも含めて検討していきたいと考えています。</p>	地方創生推進室
5	<p>あくまで1つの意見として捉えていただければと思うが、私の20代の子どもは、ご提案の将来像のキャッチコピーについて、陸の孤島感、余生を過ごすイメージならゆったりしてオアシスというのでもいいかなと思うが、若者の視点から言うと少し違うという感じを受けたようだ。私もオアシスととったりから少し昭和っぽい感じを受けた。</p>	<p>将来像については、総合計画として実施する様々な施策との整合性も図りながら、多くの人に伝わりやすい表現を考えたところです。いただいたご提案については、ご意見として承らせていただければと思います。</p>	地方創生推進室
6	<p>まちづくりの理念で4つの言葉があるが、並び順が変わるとイメージも変わってくると思う。若者や子どもの活躍をしっかり後押しするという意味で、挑戦が最初にあると、何か元気があるという気がした。今の案は共生が最初にあり、人権を大切にという思いがあるかもしれないが、少しおとなしいかなという感想をもった。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「挑戦・協働・共生・誇り」に修正いたしました。</p>	地方創生推進室

NO	意見	対応等	担当課
7	<p>「2 鳥取市ってどんなまち?」、「3 鳥取市の10年後はどうなるんだろう?」について、現状や推移の報告、または実際にこれから10年間やっていく挑戦の部分が一緒になってしまっているようで区別がつきにくい。</p> <p>また、「どうなるんだろう」だと放っておいてもこうなるというイメージがある。例えば、「鳥取市の10年後はどうすればいいんだろう」といったイメージではないか。</p>	<p>「鳥取市の10年後はどうなるんだろう?」では、時代の潮流等を踏まえて、まちづくりの理念やめざす将来像を描きたいと考えていることから、これらは同じ章に記載しているところです。</p> <p>ご意見を踏まえ、「鳥取市の10年後はどうなるんだろう?」については、「鳥取市の10年後をどうする?」に修正しました。</p>	地方創生推進室
8	<p>地方創生の肝は人口減少をいかに食い止めるかだと思うが、そこを中心にもっと具体的にまとめることはできないだろうか。</p>	<p>地方創生の根幹は人口減少問題への対応であると認識しており、そのため「第3期鳥取市創生総合戦略」を「第12次鳥取市総合計画」の重点施策と位置づけ、重点的かつ戦略的に取り組むこととしています。</p>	地方創生推進室
9	<p>熊本市総合計画を見ても、やはり人口減少への対応ということが明確に記載されている。また、ビジョン（政策）の一番目に、「子どもが輝けば子どもが希望を抱くまち」として入れておられる。整合性を取り、見やすい形で政策を立てていただけたらと思う。</p>		
10	<p>「2 鳥取市ってどんなまち?」は「まち」で記載されているものの、(4)は「都市のすがた」となっている。「まち」にはしていないだろうか。</p>	<p>「都市のすがた」は、市民生活を支える都市機能を維持・充実するための方向性を示すものであり、具体的にはコンパクトシティの考え方を表しています。</p> <p>「まちのすがた」とすると、福祉やコミュニティなど幅広い概念を含むように捉えられるおそれがあります。都市の形態を表す「都市のかたち」に修正し、「まちづくりを支える」を前に加えさせていただきます。</p>	地方創生推進室
11	<p>総合計画において、鳥取市周辺で起きたことに対する防災の考え方は組み入れておられると思うが、南海トラフ地震のような巨大災害が起きたときに、間接的に被害を受ける鳥取市はどうするのか。計画に明文化するというのではなく、そうしたリスクに対して鳥取市はどうするのかということを常に心に留めながら、総合計画をつくっていただきたい。</p>	<p>自治体の総合計画に具体的な記載をすることは難しいですが、南海トラフ地震のような大規模災害や感染症リスクなど、今後起こり得るリスクに対して、時代の潮流の中で「安全・安心への意識・関心の高まり」として整理を行っています。</p> <p>こうした時代の潮流を踏まえ、施策を推進していきます。</p>	地方創生推進室
12	<p>10年後の鳥取市の姿を考えていく上で、一つの具体的な指標として、人口構成のバランス、特に若者がどれだけ入ってきているか、構成しているかを指標で表すことは検討されているだろうか。</p>	<p>人口減少問題に取り組むうえで、若い方をどれだけ増やせるかは大事な要素であると考えています。次期総合計画等の指標において、若者の人口動態に関する指標（構成割合や転入・転出に関するものなど）を指標とすることを検討します。</p>	地方創生推進室